

◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきざしましょう



梅雨に備えパトロールを行う民秋市長

# 梅雨に備えて点検

## 防災パトロールで安全確認

雨。その降りかたによって、これほどまでに人々に多彩な印象をあたえ、さまざまに思いを呼び起こさせるものもないでしょう。しかし、一転して、大雨による洪水、土砂崩れなどの甚大な害をもたらすのもまた雨です。梅雨への備えは万全でしょうか。もう一度、周りの点検をして下さい。

市では、毎年梅雨の季節を前にして、防災パトロールを実施しています。集中豪雨や長時間にわたって雨が降り続けると地崩れの危険のある箇所や、浸水のおそれのある地下道を前もって点検しました。

今回点検したのは向日神社乙訓道協会南側(向日町南山)の急傾斜地、長野マシヨン西側(物集女町長野)の山腹、それに府道伏見向日線前田地下道(森本町前田)に平成5年度に設置された通行規制自動電光標示板の3箇所です。

パトロールには民秋市長をはじめ、向日町地方振興局長、向日町警察署長ら約30人が参加し、危険箇所の入念なチェックを行い、不測の事態に備えて市民のみならずの生命や財産を守るため、迅速な行動がとれるよう万全を期しました。しかし、科学技術が飛躍的に進歩しても、予知の難しいのが自然災害です。災害は忘れた頃にやってくるとも言わ

れています。いつ襲ってくるか分からない雨や風、地震等に対する日頃からの心構えも必要です。



チェックしよう  
水害に対する家族と地域のそなえ

もしも豪雨が予想されたらテレビやラジオなどの気象情報

報と、地域の防災情報を正確につかんでおきましょう。さらに、次のようなことを心がけて下さい。  
\* 早めに屋根や窓の破損箇所は修理しておく。  
\* 懐中電灯や携帯ラジオ、ローソクなどを用意し、停電にも困ることのないように。  
\* 貴重品や食料など最小限の荷物をまとめて、すぐに持ち出せる準備をしておく。  
\* 避難命令が出されたら★  
\* 日ごろから避難ルートを確かめておき、素早く行動できるようにしておく。  
\* お年寄りや病人、子供を優先して、お互いに助けあえるように。  
\* 一人で動かないでみんなと一緒に行動しよう。  
\* 手荷物は必要最小限に。

### がけ崩れの目安

どのくらいの雨が降ると危険か：地形や地盤の堅さなどで、一概にはいえませんが、大体の目安は1時間に20ミリ以上の雨が降ったら、また降りはじめからの雨量が100ミリを超えたら危険信号だと言われています。

雨の降り方とおおよその雨量(1時間)

5~10 ミリ	雨がトタン屋根を打つ音が聞こえ、あちこちに水たまりができる。
10~20 ミリ	雨音で話もよく聞きとれない。一面に水たまりができる。
20~30 ミリ	土砂降りや倒瀾があふれ、小さな川のはんらんやがけ崩れが始まる。
30ミリ 以上	バケツをひっくりかえしたような激しい雨。

## 浸水対策に着手

### 一万トンの雨水を貯留

本市の浸水被害を早期に解消するための下水道計画が、6月9日に向日市都市計画審議会で審議され、答申を受け、実現に向けてスタートしました。

これは、第四向陽小学校西側から南側にかけての寺戸川周辺の浸水対策を目的としたもので、集中豪雨等で水量が一定以上になると

地下に埋設予定の調整管渠に、寺戸川からあふれた水を一時的に流し込み、道路や畑の冠水及び住宅地の浸水を防ぐというものです。その後、川の水量が通常の状態にまで減少した時点で、調整管渠に蓄えてあった水を寺戸川に戻して次の雨に備えるという、壮大な計画です。調整池の役割を果たす調整管



第16回 市民音楽祭

昨年の市民音楽祭から

## 第17回 市民音楽祭出演者募集

京フィルとオリジナル曲の共演も!

開催日 11月3日(祝)  
会場 市民会館ホール

I オリジナル曲合唱団員の募集  
▶応募資格  
向日市に在住・在勤の人で練習日に出席できる人  
▶練習日  
毎週木曜日午後7時~9時、第1回目は6月23日  
▶練習場所  
市民会館ホール

▶募集人員  
大人(中学生以上) 70人  
小学生 30人  
※小学生については保護者の付添が必要  
II コーラスグループの募集  
▶応募資格  
市内に活動の拠点を置くアマチュアのグループ

申込期限 6月19日(日)  
お問い合わせ 市民会館  
TEL 932-3166